

Ver.5.30 バージョンアップ情報 (2025/05)

LandForms シリーズ(Ver.5.30)の主な変更点は以下のとおりです。

詳細は各ページをご参照ください。

なお、製品管理の都合上、本バージョンから Ver.5.3～となります。Ver.5.28、Ver.5.29 は欠番となりますのでご承知おきください。

新機能・新要素

**三角網重複部分を
判定するデータ合成**
(p1)

**XYZ-MESH の
UI を刷新**
(p3)

主な機能追加・修正点

**完全一致点の
重複チェック**
(p5)

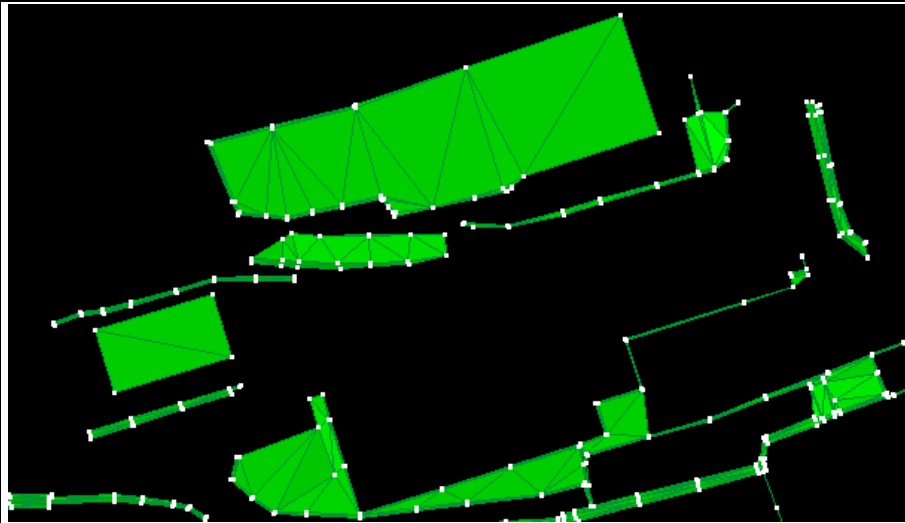
**出来形土工での
複数天端閉領域登録**
(p5)

**その他 表示変更・
不具合修正**

新機能・新要素

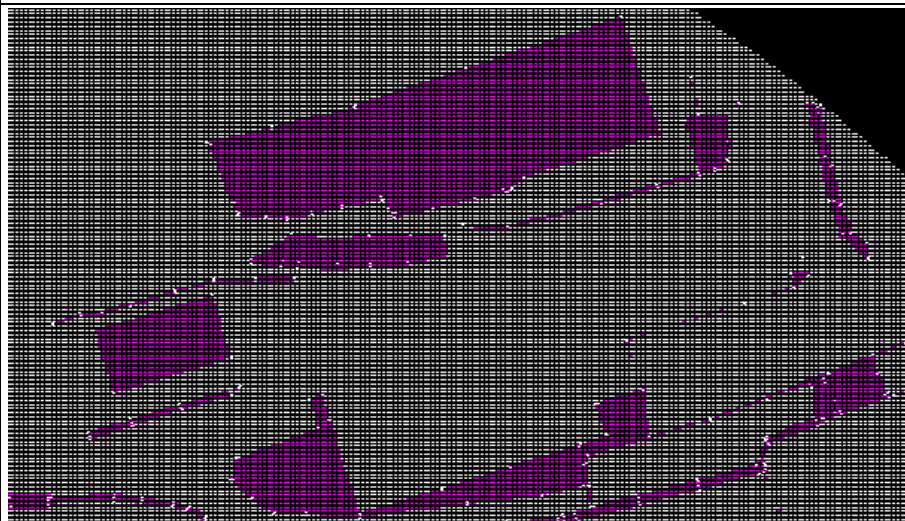
● 三角網重複部分を判定するデータ合成（「ファイル」メニュー>「ランダムデータ合成」>「三角網判定」）

読み込み済データの三角網に対し、追加で読み込むデータの重なり部分を判定し、未使用点とする機能を実装しました。



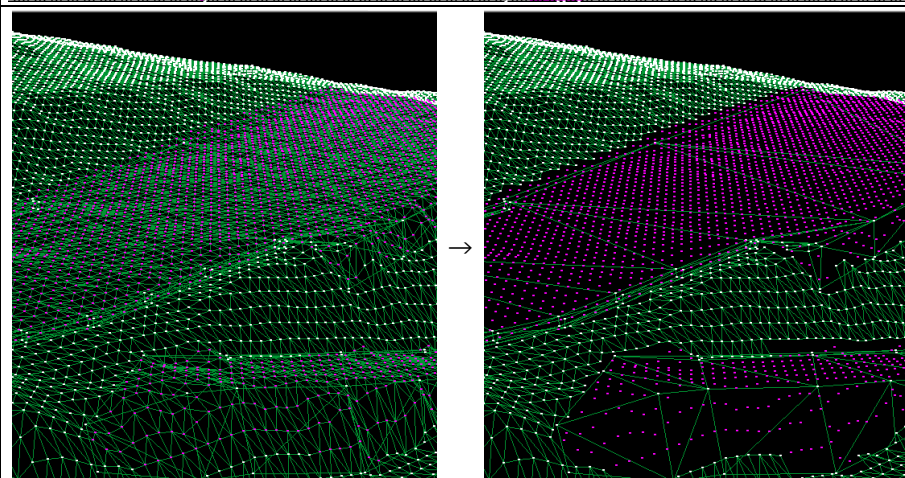
三角網計算済みの RND ファイルを開きます。外周設定は必要ありません。三角網の領域が複数あるデータにも対応しています。

※左図はわかりやすいように段彩表示しています。



「三角網判定」で 2 つ目のデータを読み込みます。

先に読み込んだデータと重なる部分が未使用点として読み込まれます。



「三角網」メニュー>「未使用点三角網削除」を行うと、左図のように 2 つのデータを合成できます。

※ 従来のランダムデータ合成について

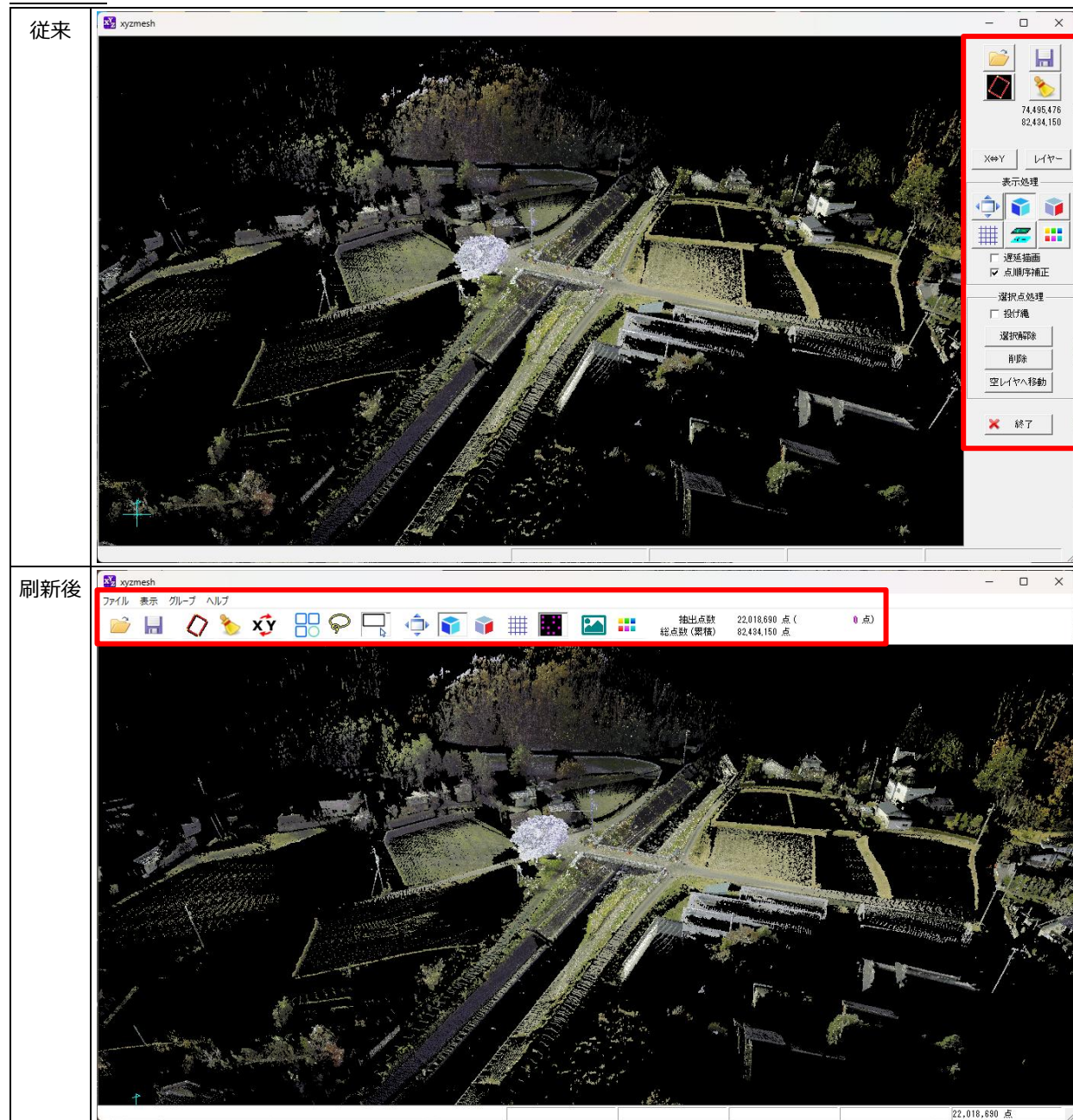
従来のランダムデータ合成は「ファイル」メニュー>「ランダムデータ合成」>「外周判定」に名称が変更となりました。
各合成方法の違いについては、下記の表を参照ください。

	ランダムデータ合成 外周判定	ランダムデータ合成 三角網判定	ランダムデータ合成 (橋梁トンネル用)
目的	重複部分の削除	重複部分の削除	データの同時表示
合成可能なファイル数	2 個	2 個	複数可
先に読み込むファイル (A)	重複部分で優先するデータ	重複部分で優先するデータ	任意のデータ (単独)
外周設定	必須	任意	任意
三角網	必須	必須 (複数領域可) ※未使用点三角網は不可	必須
後に読み込むファイル (B)	重複部分を削除したいデータ	重複部分を削除したいデータ	任意のデータ (複数選択可)
外周設定	任意	任意	任意
三角網	任意	必須	必須
ファイル読込後に必要な処理	三角網再計算 (任意)	未使用点三角網削除	不要
処理後に未使用点となる範囲	B データのうち A の外周の 内側に該当する部分	B データのうち A の三角網と 重なる部分	B データ全て
処理後の三角網の状態	全て標準 (緑)	全て標準 (緑)	A データは標準 (緑) B データは中抜き (赤)

● XYZ-MESH の UI を刷新

画面全体のデザインや各機能のダイアログを刷新しました。

全体画面



取り込み設定

従来	刷新後

※メッシュ分解距離→判定距離に変更
※デフォルト値を 0.01 に変更

保存設定

従来	刷新後

※LAS (LAZ) 形式に対応

メニュー表記の変更

従来：レイヤー

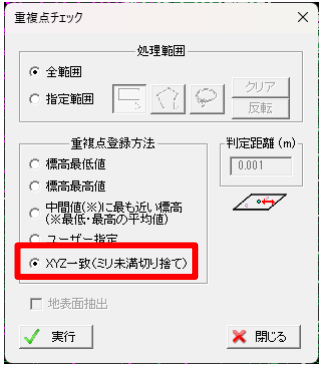
刷新後：グループ

その他機能については、機能説明書を参照ください。

追加・修正

追加

- **完全一致点の重複チェック**（「地形」ボタン>「重複点」ボタン）
XYZ 座標すべてが一致する点[※]の重複をチェックし、1 点を残して他を削除します。
※ミリ未満は切り捨て



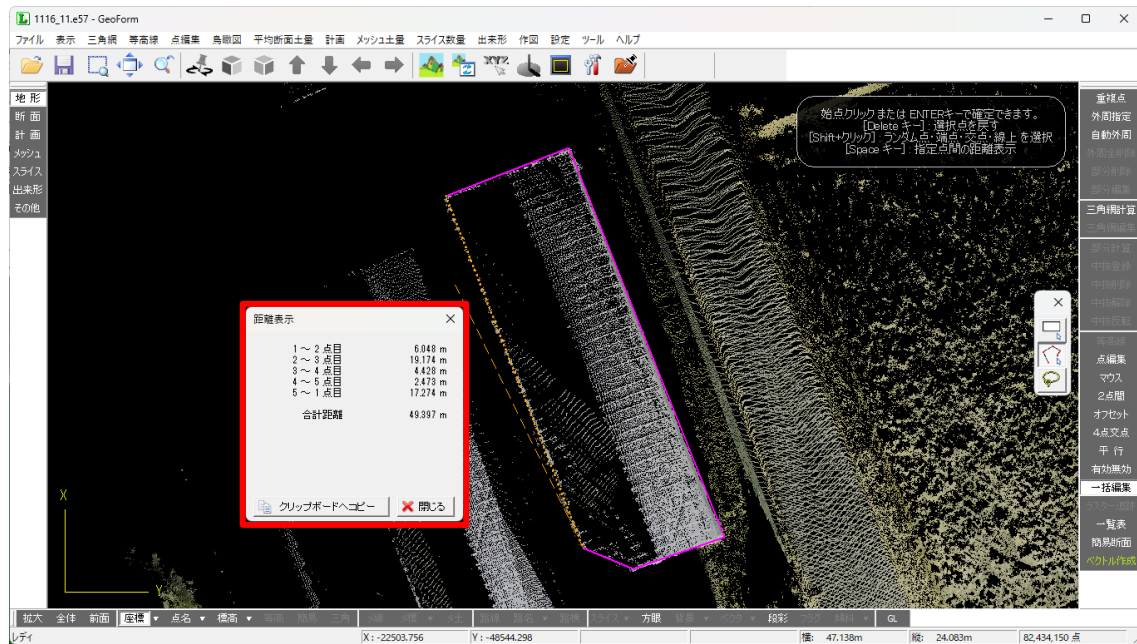
重複点チェックの際、「XYZ 一致（ミリ未満切り捨て）」を選択して実行します。
判定距離、地表面抽出機能は使用できません。

- **出来形の土工に天端閉領域登録機能**（「出来形」ボタン>「土工」ボタン）
出来形の土工機能の天端登録時に閉領域を登録する方法を追加しました。
複数の領域を登録することが可能です。

	天端線登録（従来機能）	天端閉領域登録（新機能）
登録イメージ		
判定除外	判定除外されない	判定除外される
用途	道路など	造成盤など

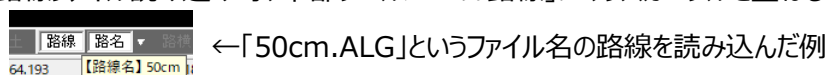
● 多角形モード時の点間距離表示機能（重複点チェック、一括編集、水平面積・表面積・体積計算）

多角形選択時に「スペースキー」を押すと、点間距離が表示できるようになりました。



● GeoForm

- ・ 路線ファイル読み込み時、下部ツールバーの「路線」にマウスカーソルを重ねるとファイル名を表示する機能



- ・ 「断面」ボタン>「ベクトル作成」ボタン
「円」「円弧」の作成時、中心線と半径値を作成する機能
- ・ 「メッシュ」ボタン>「メッシュ土量」ボタン
結果表示ダイアログに「結果をクリップボードへコピー」ボタンを追加

● ビデオ鳥瞰の光源設定に経度入力機能



光源の設定に経度を反映できるようになりました。

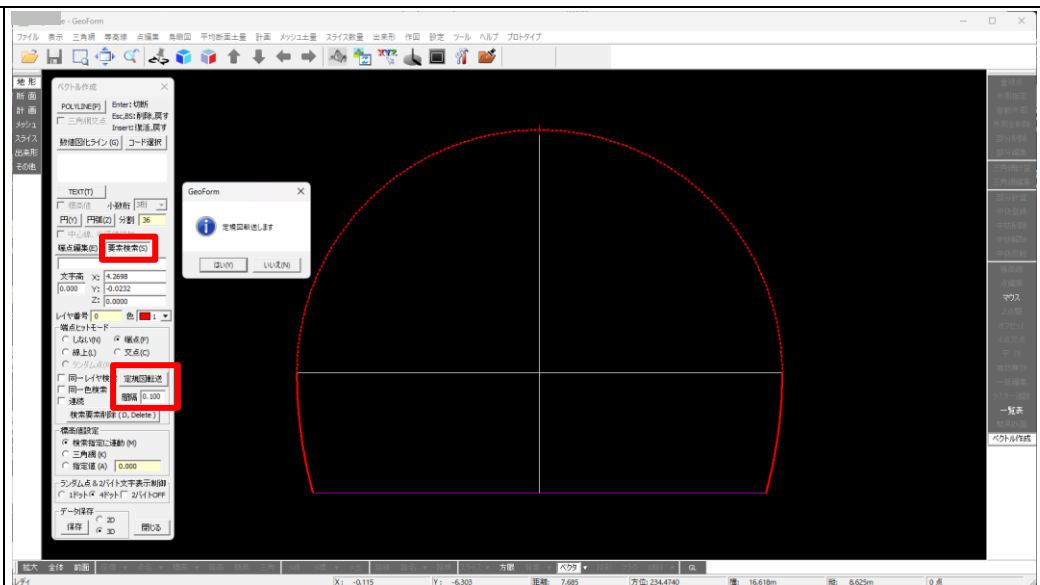
経度ボタンをクリックし ON にすると、入力が可能となります。

また経度が ON の状態では、月日時に加えて年を指定することが可能です。

● ベクトル作成・横断表示から定規図への転送機能

ベクトル作成および横断表示時に、原点を指定すると背景ベクトルのポリラインデータや横断データを定規図データに変換し、定規図機能を起動して表示する機能です。

ベクトル作成時



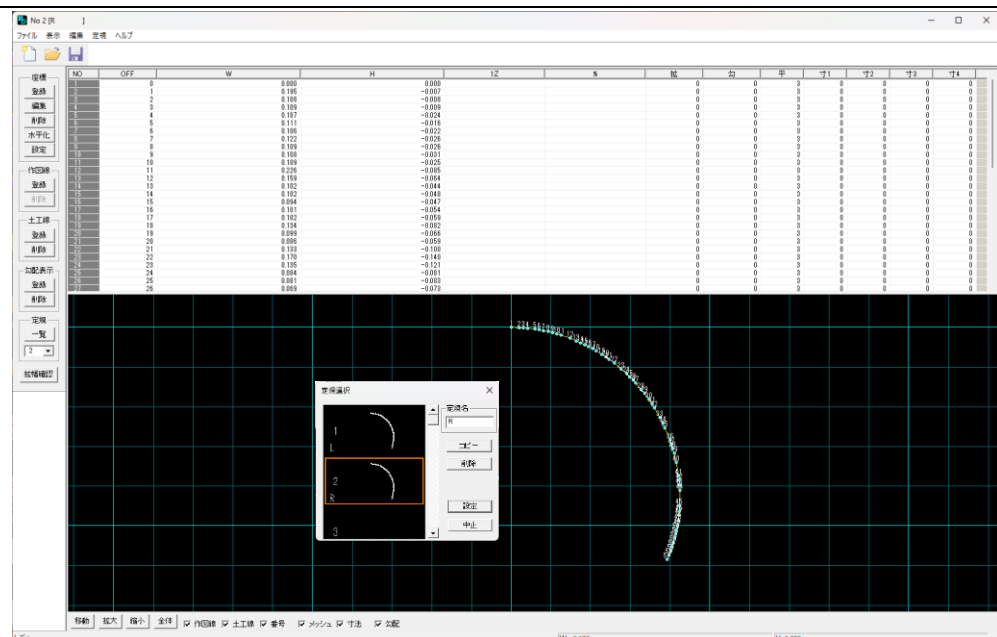
要素検索で原点を指定し、定規図転送を行います。

横断表示時



横断面図上で原点を指定してから修正ボタンをクリックし、定規図転送を行います。

定規図として転送



原点を基準に左 (L)、右 (R) の2個の定規図データとして転送されます。

修正

- **E57 読み込み**

- ・ 特定のファイル読み込み時に強制終了する

- **GeoForm**

- ・ 傾斜線の表示不具合
- ・ 「表示」メニュー>「背景ベクタ選択」
「円、円弧取込指定」を「弧長指定」すると DXF が表示されない場合がある
- ・ 「三角網」メニュー>「未使用点三角網削除」
三角網の 1 辺が削除されない場合がある

- **ビデオ鳥瞰**

- ・ 三角網データのないランダム点ファイルを読み込むと、ファイル内容と無関係な点が表示される
- ・ 走行設定に使用しないオブジェクトの影だけ表示される

- **平面図**

- ・ 「DXF 作成」
POLYLINE 指定で出力すると、BP の横断線（中心～路肩、法端部を結ぶ線）が出力されず、次の断面に出力される

以上